

さしい議会だより



牛滝漁港現地視察

12月定例会

大間原発 大きく前進か … 2 ページ

一般質問に4名登壇 … 4ページ

しおさい公園に遊具設置 … 8ページ



展望台で港湾工事状況の説明を受ける

大きく前進か 大間原発・炉心位置の変更検討へ

坂井議員

今朝（十二月十八日）の新聞報道によると「十二月十七日に大間町長及び大間町議会が電源開発本社を訪れ、炉心変更を初めて要望。

これに対し中垣社長は、あらゆる方策について早急に検討したいと述べ、炉心位置変更の検討に乗り出すことを表明。

平成十五年三月までに同町に結果を回答する。」という内容である。

原発との共存共栄を選択して地域振興を図ろうとする当村にとって、このよう着状態を打開し原発計画を前

進させるためにも、三ヶ町村の連携を更に強め、早期実現に努力すべきである。

村長はこの報道をどのように受け止め、これからどのように取り組んで行くのか見解を伺いたい。

行動

起こすべき

村長

今朝の新聞を見て、大変喜んでいいる。

大間町長はじめ関係者に、大いなる敬意を表している。

この機会に風間浦村と協議しながら、行動を起こすべきと考えている。

（関連記事8ページ）

総務大臣より 感謝状を授与



大畑議員、おめでとうございます。

大畑勝義議員は、長年にわたる議員活動の功績が認められ、去る十月十五日、総務大臣より感謝状が授与されました。

十二月定例会開会に先立ち、議長より同感謝状の伝達を行い、大畑議員の三十五年にわたる功績をたたえ、今回の名誉をお祝いしました。

総括審査

教育環境の改善望む



原田小学校

田中岩男委員

奨学基金4百万円を補正しているが、滞納があつての補正か。

原資確保の

積立て

教育長

原資を確保するための積立てである。

改修できないか

田中岩男委員

今まで長後、磯谷、原田の学校は腐食が甚だしくてもペンキも塗られていな

い。

子供たちの勉強する環境が非常に悪いことを、どのように考えているか。

統廃合問題で

改修は無理

教育委員会総務課長

原田小学校は全体的に塩害などで腐食が進んでいるが、統廃合の問題を抱えており、抜本的な改修は無理である。

早急に改修が必要な箇所は、財政事情が許せば補修したい。



小林孝子氏



松谷幸一氏

12月定例会は12月13日に招集され、18日までの日程で開かれました。

今定例会には一般会計ほか3特別会計補正予算、身体障害者等に対する軽自動車税の減免について定める村税条例の一部改正など22件が提出され、全て可決しました。

また、固定資産評価審査委員会委員には新たに松谷幸一氏を選任、教育委員会委員の小林孝子氏を引き続き任命することに同意しました。

「ほくと」存続すべき



せめて公共的交交通機関確保まで存続を

**存続
求めて
きた**

村 長

下北汽船
湖の累積赤
字は1億6
千万円であ
り、この解
消策として

関係市町村
で約1千万
円を負担、
会社の経営
の合理化に
より1千万
円、合計2

**川内町と
脇野沢村と佐井村**

村 長

川内町、脇野沢村、佐井
村が主であるが、下北期成
同盟会の各市町村、掃港地
の青森市、下北汽船への
出資町村にも協力できない
か要請したい。

今後の不足も
負担するのか

田中正行議員

今後の維持費の不足分
も、関係市町村で負担する
のか。

**補助金交付を
要請している**

村 長

従来どおり国の補助金7
千万円を継続して交付下さ
るよう要請している。

また、県が下北汽船時に
示した年3千3百万円の赤
字補てん分の補助をもとに
経営の改善を命じているの
で、最悪でも五年を目処に
という考えである。

関係市町村とは

田中正行議員

関係市町村とは、どこの
市町村を指しているのか。

田中正行議員
離島航路「ほくと」の存
続は、十二月九日、知事を
囲み、むつ下北地区自治体
市町村長との会談で存続決
定され、私も地域住民は
大変喜んでる。
ただ、当分の間の存続と
いうことで、いったん廃止
論が出るか不安である。
少なくとも代替公共的交
通機関が確保できるまでは
存続すべきである。

三上家・寄附いづごろ



田中議員

田中正行議員
赤十字の里づ
くり構想の中で

の三上家の保存

は重要である。
先の議会で三
上家の土地、建
物の寄附採納の
申し入れがあっ
たことの説明を
受けているが、
いづごろ寄附し
ていただけるの
か。

**時期は
確定していない**

村 長

寄附の内容は、庭園内の
植木を含む土地、住宅、倉
庫、物置などで三上家所蔵
の資料は後で話をすること
になっている。

寄附の時期は、三上敏さ
んが帰省のとき居住する関
係上、まだ確定していな
い。

**文化財の指定
必要ないか**

田中正行議員

寄附採納がされたとすれ
ば、保存、活用に文化財の
指定が必要ではないか。

**教育
委員会
で調査**

村 長

文化財の指
定は教育委員
会で調査を行
い、文化財審
議委員会の答
申に基づき指
定されること
になる。

**風力発電の
誘致を**

田中正行議員

環境に優しい自然エネル
ギーである風力発電が全国
各地で脚光を浴びている。
当村は四季を通じ強風が
吹いている。これを利用し
ての風力発電を誘致する考
えはないか。

**前向きに
検討する**

村 長

地球環境の上からも新エ
ネルギーの早期対策は不可
欠だと考えている。
当村では、過去の気象
データなどから風力発電
に適した風が吹くことが判
明している。

本年度中に三社から風力
調査したい旨の協力依頼が
あり、現在、原田、中道地
区で調査が行われている。
村の財政上でも固定資産
税などの経済効果が期待さ
れるので、誘致については
前向きに検討する。



「三上家」

あの質問どうなった？

古佐井川河川敷ゲートボール場・奨学資金滞納解消策



田名部議員



ゲートボール場建設計画があった古佐井川河川敷

田名部議員

村長が就任されて今回で七回目の定例議会である。これまで各議員から百十回の質問があった。その質問に対しての答弁は「検討したい」「検討する」「考えている」「考えたい」「そのように努める」「対処する」など、質問の四十三%がそのような答弁で、何件かは改善されているが、何となくその場限りの答弁に思われる。

河川敷にゲートボール場を建設する計画に対し、村長は、当該場所は日照不足で寒いという老人クラブの要望を受け別の場所を県に要望していると答弁していたが、現在どのようなになっているか。

**河川掘削など
実施した**

村長

ご指摘のとおり、歯切れの悪い答弁をしていることは、厳しい財政事情からであることをご理解賜わりたい。

財政難で保留

健康福祉課長

現在、数箇所候補地をみつけているが、財政難のため保留している。

**条例改正
どうなった？**

田名部議員

奨学資金の滞納を解消するため、保護者に貸与するよう奨学資金貸付条例を改正すると答弁しているが、現在どのようなになっているか。

**対応可能
改正しない**

教育長

滞納解消策として貸付者の変更を協議したが、奨学資金の貸し付け、返還金の納付は、奨学生本人に代わり保護者が受け取り納入できる要件を備えており、現行の制度で対応が可能なので条例、規則の改正は行わない。

介護予防が肝要

田名部議員

平成十五年以降の当村の介護保険料は、現在の保険料で十分対応できると答弁している。

**徴収率は
六十二%**

住民課長

十一月末現在で百二十八人。徴収率は六十二%である。

**収納率アップに
努力すべき**

田名部議員

普通徴収の収納率が六十二%であることが問題である。もっと徴収に努力すべきである。

努力する

住民課長

一〇〇%徴収に向けて努力する。

現在のまま継続

健康福祉課長

介護予防生活支援事業は、現在そのまま継続する。

**介護保険料の
収納状況は**

田名部議員

介護保険料の第一号被保険者の普通徴収されている人数と、今年度の収納状況を説明していただきたい。

**計画
あるか**
田名部議員
ゲートボール場の計画は、別にあるのか。

市町村合併

諸問題を問う

後藤議員

市町村合併について、村長は前向きな考え方だと解釈しているが、北通り三ヶ町村か、むつ・下北八市町村の合併を考えているのか。

北通り三ヶ町村も

考えている

村長

「むつ・下北地域市町村合併共同研究会」を設置し、各市町村の行財政の現状、課題、問題点などの資料の収集、分析、地域の将来構想などの策定作業を進めている。

合併の枠組みは、議会と相談しながら意思決定する予定で、北通り三ヶ町村も視野に入れて考えている。

役場職員の

削減対策は

後藤議員

市町村合併により役場の職員数に余裕が生ずると思

われるが、その対策は定年退職の不補充で行うのか。

不補充で

調整を図る

村長

行政の効率化の過程で職員が削減され、行政サービスの低下が懸念されるが、削減は自分の間、定年退職の不補充で調整を図る。

無医村転落は

回避すべき

後藤議員

自治体病院再編成下北圏域の県の素案が示され、むつ総合病院の機能拡大と、大畑、川内病院が有床診療所への転換、大間病院は今までどおり、東通村、風間浦村、脇野沢村、佐井村の四診療所は内科を中心とした初期医療の機能と在宅医療の充実を図るため存続となったが、将来的にも無医村転落だけは避けなければならない。

村長の見解を伺いたい。

無医村には

ならない

村長

医療再編成計画で大間病院の充実が図られることになり、佐井診療所の負担軽減も図られるので、在宅医療なども含めた包括ケア体制充実のため診療所と詰める。

また、自治体病院再編成計画で、佐井診療所の位置付けはしっかりしているので、無医村になることはないと考えている。

学校統合 平成18年度目標達成か



後藤議員

後藤議員

去る平成十三年度十二月五日開催の佐井村教育委員会会議において、学校統合は教育的配慮が必要で、地域住民の理解を得るため時間をかけて問題解決を図った上で、教育委員会のみならず行政も小中学校の統合を検討すべきであると意見集約されている。

その上で、原田、磯谷、長後小学校は佐井小学校に、磯谷、長後中学校は佐井中学校に五年後を目処に統合が決議され、平成十八年まで目標を達成しなければなら

平成十八年
四月一日が目処

教育長

学校統合の時期は、平成十六年が磯谷、長後小学校が独立校となつて五十年の節目の年になること、平成十七年四月一日に東通村で十一校の統合があり、教師の配置を考慮した場合、平成十八年四月一日スタートが目途と考えている。



佐井中学校風上げフェスティバル

財政調整基金の張り付けで

国保税の軽減図れ

島野議員

平成十五年度の予算編成にあたり、村民に公約した事項をどの程度実施する見込みなのか、具体的に説明してほしい。

**公約実現
できない状況**

村長

当村の財政状況も、人件費、公債費の義務的経費の

島野議員

**公約の実現
図るべき**

十五年度の国の地方財政計画では、地方交付税は五

割合が依然として高く、經常収支比率は九十一・三%と高水準にあり、公約に掲げた施策などは、全てが実現できない状況にあることを理解いただきたい。

村長

**可能な限り
努力する**

村の財政状況を見極めながら、住民福祉向上のため可能な限り公約実現に努力する。

%の減となっているが、臨時財政特例債は村長の裁量で使える起債である。住民の福祉の向上を図るためにも、公約の実現を図るべきではないか。

**新規公共事業の
見通しは**

島野議員

村の経済の活性化を図るため、国、県の公共事業の積極的な導入と、村単独事業を推進すべきである。

平成十五年度の国、県、村の新規公共事業の見通しはどうか。



島野議員

**村単独事業は
継続事業を実施**

村長

平成十五年度の国、県の新規の公共事業の見通しは不透明だが、村道福浦川目線の第二期工事が本格的に着工される予定である。村単独事業は、継続事業を実施する。

**佐井バイパスの
見通しは**

島野議員

佐井バイパスは、既に家屋の補償調査も終わったように聞いているが、本格着工の見通しと、土地の買収、家屋補償の見通しを説明していただきたい。

**用地補償などは
不透明**

環境建設課長

佐井バイパスの家屋調査、用地関係、立木関係の調査は終わっているが、若干、沿線に測量、家屋調

査に応じてもらえない部分があり、用地補償などに入る見通しは不透明である。

**イベント
復活なるか**

島野議員

本年度は、がんかけ祭、村民体育大会、産業フェアなど、村民が一番期待し楽しみにしていたイベントが中止された。

十五年度は見直しを図り、復活する考えはないか。

**実施の方向で
考えている**

村長

イベントの実施は、関係団体と協議し、実施する方向で考えている。

**基金の張り付け
できない理由は**

島野議員

平成十四年度の国保税は過去に類のない増額改定であった。

財政調整基金を張り付けできなかった理由を説明していただきたい。

**基金保有高
確保のため**

村長

基金を取り崩しできる場合の理由は、過去三年間の保険給付費の平均年額二十五%、約4千6百万円の基金造成が必要だが、現在は3千3百万円より保有されていないので、取り崩しできない。

**繰入れ前提に
予算編成を**

島野議員

平成十四年度予算編成にあたって財政調整基金から2千万円を取崩した場合、四人の標準家庭で12万円の増額改定が5万4千円の改定で終わらずである。

十五年度の予算編成にあたっては、財政調整基金からの繰入れを前提に、国保予算の編成ができないか。

**県の窓口と
結める**

助役

財政調整基金の保有額の厳しい指導があるが、ご指摘の事項を県の窓口と可能か詰める。

しおさい公園に遊具設置



遊具設置で子供たちの遊び場が充実される

平成十五年第一回臨時議会が一月二十一日開かれました。

平成十四年度一般会計補正予算一件が提出され、大間原子力発電所の早期建設促進要望にかかる旅費、村をきれいにする運動謝金、しおさい公園遊具整備費など可決しました。

また、議員提案による意見書「町村の自治確立に関する意見書」についても可決しました。

大間原子力発電所

早期建設を要望

去る一月二十三日、大間原子力発電所の早期建設着工により、地域の活性化及び地域・水産振興計画の早期促進を図るため、大間原発三ヶ町村協議会（大間町・風間浦村・佐井村）では資源エネルギー庁、電源開発株式会社、県選出国會議員に対し要望書を提出しました。

当村からは村長、議長、大間原子力発電所対策特別委員長ほか二名が参加。

議会を傍聴してみませんか？
次回定例会は3月です。



ナイター議会を傍聴